

## ＜付箋への書き込み・比較による、考えの形成、共有＞

国語科・小学校6年・説明文『鳥獣戯画』を読む（光村図書）

ねらい：絵と文章を照らし合わせたり、表現や構成の工夫に着目したりすることを通して、筆者のものの見方や論の進め方について考えを伝え合う。

### 活用による効果

- ・学習者用デジタル教科書の本文（文章）から、筆者の表現の工夫として捉えた箇所を容易に抜き出すことができる。
- ・表現の工夫として共通するものを仲間分けする作業が容易にできる。
- ・表現の効果についての自分の考えを付箋に書き込みながら整理し、思考を深めることができる。



機能：抜き出し、保存・表示、書き込み、拡大、付箋

### 学習活動例

### ★学習者用デジタル教科書活用場面

	活動内容	活用ポイント／留意点
導入	<p><b>一斉</b> 課題の確認</p> <p>1 本時の課題を確認する。</p>	<p>・端末上で操作可能な状態にしておく。</p>
展	<p><b>個別</b> 個人追究</p> <p>2 文中で用いられている筆者の表現の工夫を集め、その効果について考える。 ★表現の工夫として共通するものを画面上で整理する。 ★それぞれの表現にどのような効果があるか、付箋を活用して記入する。</p>	<p>・つまづいている児童には、注目が集まっている表現の工夫を大型提示装置に提示し、どのような印象を受けるかを言葉にするよう助言する。</p>
	<p><b>グループ</b> 話し合い</p> <p>3 互いの考えを伝え合い、効果として考えた内容について意見交換する。</p>	<p>・自分の学びに生かすことができるよう、児童が考えた効果について、共通点や相違点を共有させる。</p>
開	<p><b>一斉</b> 学級全体での発表</p> <p>4 表現の工夫やその効果について、気付いたことを発表する。</p> <p>[ ・「～返し技。」「～かわず掛け。」 ＝体言止め。リズムがよくなる。 ・「…してごらん。」「どうだい」 ＝読み手を引き込む。 ・「ひょいと立って」「ぱっとページを」 ＝その様子が伝わってくる。 等 ]</p>	<p>・必要に応じて発表する児童の端末画面を大型提示装置に映し、発表させる。</p> <p>・筆者の表現の工夫を実感できるよう、表現の工夫を用いなかった場合と比較させる。</p>
まとめ	<p><b>個別</b> 振り返り</p> <p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>・本時の振り返りをノートに記入させる。</p> <p>・次時は実際に筆者の工夫を自分の表現に取り入れて書くことを予告する。</p>